

テキサス州において想定される大規模災害の一つにハリケーンがあります。連邦緊急事態管理庁 (Federal Emergency Management Agency、FEMA) によれば、ハリケーン・シーズンは毎年6月から11月までの6か月間で、ハリケーンの発生に備えて情報収集など事前の対策を行うよう呼びかけています。

アメリカ国立気象局の発表によれば、2021年、北大西洋で発生した熱帯低気圧のうち、風速39マイル～73マイルを計測した「トロピカル・ストーム」は合計21個、それより強い風速74マイル以上の「ハリケーン」は7個、風速111マイル以上の非常に強い「メジャー・ハリケーン」は4個でした。特に、9月にルイジアナ州に上陸し、北東方向に進んだハリケーン・アイダは、各地で大雨、洪水、冠水等の深刻な被害をもたらし、ニューヨーク市では非常事態宣言も発出されました。

コロラド州立大学の2022年4月の発表によると、2022年は、トロピカル・ストーム以上の熱帯低気圧が19個(平均14.4)、そのうち9個(平均7.2)がハリケーンになり、更に4個(平均3.2)がメジャー・ハリケーンにまで成長するとの予想です。また、メジャー・ハリケーンが米国に上陸する可能性も71%と予想されています。テキサス州沿岸部へのハリケーン到来は8月から9月が最も多いとされていますが、気候により5月や12月にも発生したことがあります。この情報は4月時点での予測ですので、今後変化する可能性があるこ

とをご承知おきください。

ハリケーン対策については日頃からの準備がとて重要です。記録的豪雨でヒューストンを始めテキサス沿岸部に甚大な被害をもたらした2017年のハリケーン・ハービーのテキサス州上陸から、もうすぐ5年になるようですが、万が一の時に備えて、日頃から情報収集を行い、避難ルートや防災用品を確認しておきましょう。ハリケーンが近づき、注意報や警報が出たら、当局の指示に従うほか、正確な情報の収集、物資の確保(最低1週間分)、車のガソリンを満タンにするなどいざという時の避難準備などの対策を講じてください。

日本総領事館のウェブサイトハリケーンでもハリケーン対策マニュアルや情報収集のための関係機関へのリンクなどを掲載しておりますので、一度ご確認ください。

そのほか、災害への準備については、ヒューストン市緊急対策室のウェブサイトも参考になります。職場などでも、ハリケーン発生時のマニュアルや安否確認のためのリストの再点検をお願いします。

ハリケーン対策の一環として準備しておくよい防災グッズの一例をご紹介します。ご家族の状況に応じて、以下のグッズ・リスト例をご参考の上、ハリケーンに備えて事前に準備されることをお勧めします。

ハリケーン対策グッズ・リスト

※◎は必需品、○は可能であれば準備をお勧めするもの、△はあると便利なもの

項目	留意点等	項目	留意点等
<input type="checkbox"/> ◎飲水	通常一人当たり1日1ガロン14日分を準備。	<input type="checkbox"/> ○現金	カード・ATMが使えない場合あり。できるだけ小額の現金を準備。
<input type="checkbox"/> ◎衛生用水	トイレ、シャワー用。バスタブ等を利用して貯水。	<input type="checkbox"/> ○衛生用品	【例】トイレトーパー、ウエットティッシュ、石鹸、消毒用アルコール、洗剤、生理用品、洗面用品(歯ブラシ、シャンプー、洗顔用品等)、マスク、ふた付きバケツ、ごみ袋、ビニール袋等
<input type="checkbox"/> ◎食料	保存可能な食料を人数分×14日分以上準備。 【例】パン、各種缶詰(肉、野菜、フルーツ等)、スープ類、ドライフルーツ、ナッツ類、ゼリー、飲物、高カロリー食品、冷蔵を要さない野菜、調味料等、火が不要な保存食	<input type="checkbox"/> ○緊急時の持出キット	食料、飲み物、衛生用品に加えて現金、パスポート等貴重品類等を入れたバック(防水性が望ましい)、救助、急遽退去命令が出された際に携行。
<input type="checkbox"/> ◎懐中電灯	一人1つ準備が望ましい。予備電池を準備。	<input type="checkbox"/> △コンパス	避難時に使用。
<input type="checkbox"/> ◎携帯ラジオ等	携帯テレビも有用。予備電池を準備。	<input type="checkbox"/> △ドライアイス	保存が効き、冷蔵に使用可能。
<input type="checkbox"/> ◎救急医療品	【例】各種サイズの絆創膏、安全ピン、ゴム手袋、ガーゼ、三角巾、包帯、はさみ、ピンセット、針、ウエットティッシュ、消毒剤、体温計等	<input type="checkbox"/> △チューブテント	家が倒壊した場合、避難先等で利用可能。
<input type="checkbox"/> ◎ガソリン	車のガソリンは常時3分の2以上入れておく。	<input type="checkbox"/> △処方箋	必要であれば、避難前に薬局等で処方箋を書いてもらう。
<input type="checkbox"/> ◎携帯電話等	携帯電話、ポータブル式充電器(乾電池式)、ソーラー式充電器	<input type="checkbox"/> △消火器	小型のものが望ましい。
<input type="checkbox"/> ◎重要文書一式	重要文書は直ぐに持ち出せるように準備。 【例】旅券、保険証書、出生・結婚証明書等。	その他 (各ご家庭の事情に応じて)	赤ちゃん用の乳幼児用食品(ミルク等)、おむつ、赤ちゃん用の薬
<input type="checkbox"/> ○食器類等	箸、紙皿、紙コップ、プラスチック容器等。		ペット用の水、食料、ケージ等。
<input type="checkbox"/> ○調理器具	携帯ガスコンロと燃料、缶切り、ナイフ等。	【緊急連絡先】	
<input type="checkbox"/> ○寝具等	寝袋、エアマット、毛布、タオル等。	ご家族の緊急連絡先をご記入ください。	
<input type="checkbox"/> ○常備薬	使い慣れた薬(頭痛薬、風邪薬等)		
<input type="checkbox"/> ○マッチ・ロウソク	防水用の缶等で保管すること。		
<input type="checkbox"/> ○各種手袋	軍手、厚手のゴム手、使い捨てゴム手(手が洗えないとき食べ物を扱う)		
<input type="checkbox"/> ○工具	【例】ペンチ、テープ、アルミホイール、ソーイングセット、スパナ、ペン、紙等		
<input type="checkbox"/> ○衣類	着替え以外にも、予備の靴、長靴、雨具等も準備しておくことよ。		

目の付く所に貼って
有事に備えましょう。



●在ヒューストン日本国総領事館
TEL: 713-652-2977 FAX: 713-651-7822